

# 在留外国人と言語 (第10講)


社会とルール

# この講座で学ぶこと

- ▶ 日本の社会でのルールが在留外国人達にどのように映るか。
- ▶ 西洋人と非西洋人に対しての日本人の態度の違いなどを考える。
- ▶ 敬語の使用が社会全体に組み込まれている日本社会の特質を知る。



# 日本のルール

- ▶ ゴミの分別は世界的にも、日本はかなり細かい。
- ▶ アメリカでは、リサイクル・一般ゴミ・草木類などを入れるオーガニックゴミの3つに分別するだけである。リサイクルからさらに缶・ビン・ダンボール・紙とさらに細かく分類は行わない。リサイクルできるものは全て一緒に出すのだ。
- ▶ 日本でのゴミの区分けのルールは細かいので、口頭だけでは分かりにくい。その時は、移民の分かる言語で書かれたパンフレットかウェブサイトが必要である。

# 他国でのゴミ分けのルール

- ▶ 自治体指定のゴミ袋があることを知らなかった（オーストラリア人女性）→日本のゴミ分別ルールが、自治体によって異なるので、たとえ基本的なルールをわかっているとしても、自治体による違いを把握するのは困難である。
- ▶ ゴミを前日の夜に出してはいけないと知らなかった（アメリカ人男性）
- ▶ 可燃ゴミと不燃ゴミの違いが分からなかった（マレーシア人女性）
- ▶ ゴミ分類は面倒だと思う。中国では分類はしない(中国人 男性)
- ▶ 日本に行われるごみ分別は厳しいと思います。母国では分別をする必要がないし、燃えるゴミとボトルにだけ分かれています(スペイン人 男性)

# 小学校での文化的な習慣

- ▶ 南米出身の女の子は、幼いうちから化粧したり、ピアスをする。
- ▶ 授業のあと、掃除をするという習慣はない。それらは専門のJanitorがする仕事と認識されている。トイレ掃除などは特に抵抗がある。
- ▶ 給食の時間に教室で全員で食事をする慣習がない場合がある。
- ▶ イスラム教徒の女子児童などは水泳の時間に水着になることは抵抗がある。

# 日本社会のルール


- ▶ 会話のルールを覚える必要がある。
  - ▶ 敬語を用いる。尊敬語、謙譲語、丁寧語の区別がある。
  - ▶ Yes-Noをはっきり言う文化と言わない文化の違い。
  - ▶ 相づちの打ち方が、文化間で微妙に異なることがある。
- 
- ▶ お辞儀でも、どれくらいの角度で身体を傾げるとか、色々と社会的なルールが決まっている。

# 日本社会での挨拶(お辞儀をする)



# 握手の仕方(西洋社会では)



- (1) 握手をする時は必ず相手の目を見る。
- (2) 握手の手を差し伸べる時は順番 (Protocol) がある。先に手を差し伸べるのはまず「上位者」から。ボス→部下、女→男、年長者→年少者、先生→生徒 対等な関係であればその限りではない。
- (3) 握る強さは強すぎず弱すぎずにする。
- (4) 握手をする時間の短長は親密度を表す。長いほど友好的な関係を示す。
- (5) 握手をする時に片方の手を添えたり、相手の肩を叩くことで一層の友好をアピールすることが出来る。



# 面接のルール

- ▶ 一つの社会のルールは必ずしも他の社会では通用しない。
- ▶ また時代を超えて普遍的なルールはない。
- ▶ 日本では、かしこまって面接を受ける。上下関係がある。西洋では、対等な関係である。



# アドバイス(日本)

## 面接五訓

面接前におさえておくべき五つの心得

一、積極性を見せよ！

意欲を見せねば内定は勝ち取れない

二、何事もポジティブに！

「過去より未来」の前向きな姿勢

三、誠実・素直な応答！

面接には等身大の自分で臨むべし

四、落ち着きを忘れるな！

緊張して当然、冷静さを保つ工夫を


五、自信を持って！

十分な準備が大きな自信を生む！

# 西洋のアドバイス（1）

- ▶ 日本でのアドバイスは精神的抽象的であるが、西洋文化ではきわめて具体的である。
- ▶ 自分の履歴書を再度読み直せ。
- ▶ あなたの履歴書を見直してください。数部を印刷して持参できるように準備しておきましょう。それから、履歴書を読み返し、求人内容と照らし合わせてみてください。自分をうまくアピールする方法を考えましょう。まだ十分に発達していないスキルや不足しているスキルをどのように補えるかを示す、素晴らしい回答を考えてください。

## 西洋のアドバイス（2）

- ▶ セルフケアは今から始めましょう。面接の約90分前にタンパク質を摂取してください。炭水化物は血糖値が急に上昇した後、下がってしまう可能性があるため、集中力や思考に影響を与えるかもしれません。「脳に栄養を与えましょう」と言います。人前で話すときは、「話す1時間から1時間半前に食事を計画し、しっかりとエネルギーを蓄えます」。短い昼寝ができるなら、それもリフレッシュに役立ちます。ただし、長く寝過ぎないようにアラームをセットするのを忘れないでください。

## 西洋のアドバイス（3）

- ▶ 30分から60分ほど早めに到着しましょう。これにより、交通のトラブルや渋滞があっても心配する必要がなくなります。それだけでなく、約30分ほど成功をイメージする時間を持つことができます。面接が短編映画のように、スムーズで楽しく進行していく様子を思い描いてください。



## 西洋のアドバイス（４）

会話とつながりを意識しましょう。面接官を一人の人間として捉えましょう。面接官もあなたと同じように忙しかったり緊張していたりするかもしれないです。相手を引き込む質問をいくつか考えておきましょう。企業文化やそこで成功する人々について、相手の意見を尋ねてみてください。面接官が安心して話やすく、喜んで共有できる話題を考えましょう。頭をクリアにして、ストレスを手放しましょう。短い散歩をして肯定的な言葉を口にするのも良いでしょう。瞑想をする、本を読む、深呼吸を試してみるのも良いでしょう。心を良い状態に保つことがとても大切です。

面接官への思いやりも見られる。

# 成長につれて覚えるルール

- ▶ 成長するにつれて、単に言語の使い方だけでなく、その社会に即した使い方を覚えていく。
- ▶ 日本語の使い手として、日本社会に即した使い方を習得していくのである。
- ▶ 生きていくためには、覚えなければならないルールがたくさんある。
- ▶ →敬語の使い方、挨拶の仕方、丁寧な表現、男らしい／女らしい表現、職業にそった表現。

# 課題

- ▶ 面接の時の様子の違いを西洋と日本とで比較してみよう。
- ▶ 握手とかお辞儀の仕方を在留外国人にどのように教えますか。

